

# 大阪府市場だより

大阪府中央卸売市場



総合食品供給基地

第360号 令和4年2月28日  
 発行 大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島1-1-1水産棟3階）  
 連絡先 TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp  
 U R L https://fu-ichiba.jp



## 常駐代表者会議

標記会議（山口秀雄議長）が2月17日に管理棟7階で開催されました。その議事概要は次のとおりです。

### ■府からの報告

#### ○令和3年度の取扱高

いずれも前年度比較で、市場全体は金額ベースで約115億円、15%の減、直接集荷は金額ベースで約9.2億円、9.5%の増。

#### ○令和4年度の予算(案)

主要予算案として、委託事業で約720万円、計画修繕工事として約1億960万円、補助事業として2千万円を2月議会に提出予定。  
 (予算案の詳細は3ページに掲載)

今年度より導入した仲卸売場等低(定)温化設備導入支援事業については、予定どおり10件の活用があったところであり、現在、来年度の活用希望者を募集しているところ。

#### ○再整備のスケジュール

来年度からの2か年で基本計画を策定し、令和7年度以降、設計・建設に着手する予定。基本計画の策定に向けて、来年度、「再整備検討会議(仮称)」を設置する予定。

森場長から「来年度からの作業が円滑に進められるよう、基本計画策定等を支援してもらう事業者を今年度末には公募により選定したい。」との話があった。

### ■管理Cからの報告

#### ○活性化事業

#### ▽ハード事業

・近郊売場買出人専用駐車場青果エリアの屋根整備事業↓3月下旬竣工予定。

・青果仲卸棟2階休憩室の整備工事↓3月下旬竣工予定。

・水産仲卸B棟防鳥ネットの設置工事↓2月22日に着手し3月中旬竣工予定。  
 ▽ソフト事業

#### ・大学連携事業

徳島県関西本部×梅花女子大学(2/23)×2/27グラウンドでの「パネル展」。

徳島県の魅力をたっぷりお届け  
 …産学連携展…  
 2022.2/23(水)~27(日) 11:00-19:00  
 グラウンド大ホール 北条橋(レゾナンス)「The Lab」  
 みんなで健康一歩先進歩アワード表彰  
 梅花女子大学

梅花女子大学×大水直売の恵方巻(今年で8年目)↓  
 2/3大水直売の7店舗で数量限定での販売、午前中に売り切れる店舗もあり大好評。

#### ・子ども食堂

ここなら×徳島県↓ココナのため当分延期。

・府健康づくりアワード表彰式(3月21日に知事賞副賞を提供)

・キッチンカーの試行的出店(管理棟駐車場内)↓クレープ、おにぎりの等軽食の販売。

次ページに続く



絵:「白菜」



コロナ禍で発生した食中毒事例について  
〜手洗い消毒だけで大丈夫?〜

新型コロナウイルス感染症が世界を席巻する中、日本では飲食店での会食の激減やウイルス感染対策としての手洗いの徹底などにより、2020年の食中毒事例は2019・2018年に比べて件数が大きく減少しました。特にノロウイルスによる食中毒事件数は例年の半分以下でした。

しかし、2020年の細菌を原因とする食中毒事例は、件数が前年より100件以上減少しているにも関わらず、患者数は前年の倍以上に増加しました。主な原因は、6月と8月に4件発生した200名以上の大規模な食中毒です。

《病因物質別食中毒発生件数(患者数)》

	2018年	2019年	2020年
細菌	467件 (6,633名)	385件 (4,739名)	273件 (9,632件)
ウイルス	265件 (8,876名)	218件 (7,031名)	101件 (3,701名)

手洗い消毒だけでは抑え切れなかった大規模食中毒。今回はその中から一つをご紹介します。

【乾燥海藻で大規模食中毒】

2020年6月、埼玉県内の小中学校で給食を原因とする患者数2958名もの大規模食中毒が発生しました。

主な症状は腹痛・下痢、原因食品は「海藻サラダ」、原因物質は「病原大腸菌「O7」でした。乾燥海藻など原材料は前日に水戻しされ、冷蔵保管の後、加熱されずに提供されていたため、原材料に付いていた病原大腸菌が保管中に増殖し、食中毒を起こしたと考えられました。

今後は、前日調理を廃止し、当日にお湯戻し(98度5分以上)するように見直されました。

農産物、海産物及び畜産物には食中毒の原因となる細菌やウイルスが付着していることもあり、取扱いに注意が必要です。当市場は生産地と消費者

をつなぐ架け橋であり、目には見えなくても市場における衛生管理の徹底や食品の取扱いが、後の食中毒の発生予防に繋がっていくのです。

食中毒予防三原則「つけない、増やさない、やっつける」を守り、安全な食品の提供に努めましょう。

人事異動(府市場関係)

- (株)大水(3月1日付)
  - ※敬称略、○内は前職
  - 執行役員▽北部支社長兼大阪鮮魚部門北部鮮魚部長(北部支社長)花本章男
  - 部署長▽大阪鮮魚部門東部鮮魚部長(同部門北部鮮魚部長)魚部長)三和幹治
  - 昇進▽大阪鮮魚部門北部鮮魚部一般青物・近海課長(同部門北部鮮魚部一般青物・近海課)北川大貴
  - 異動▽大阪鮮魚部門北部鮮魚部次長(同部門東部鮮魚部次長)木村浩▽北部支社管理グループ管理課(同支社塩冷部加工食品課)宮脇勇伍

来月のお知らせ

- 計量器の検査  
3月1日、3日、4日に青果卸店舗における計量器の検査を実施します。
- 大掃除の実施  
3月11日(金)に今年度最後の大掃除を実施します。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 消防・防災訓練  
3月下旬に、標記訓練が実施される見込みです。
- 工事関係  
近郊売場買出人専用駐車場青果エリアの屋根整備と青果仲卸棟2階休憩室整備が竣工する予定です。
- その他  
府議会が開催され、予算案が審議、議決されます。「指定管理者評価委員会」が3月1日に開催され、「道路問題対策協議会」の開催も検討されています。

卸売業者取扱高

《1月・単月》

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	8,833	96.7	1,937,163	98.0
	果実	3,566	89.4	1,694,161	107.4
	小計	12,399	94.5	3,631,324	102.1
水産物	生鮮水産物	1,239	77.1	1,310,887	109.2
	冷凍水産物	174	98.4	211,459	111.8
	加工水産物	719	91.4	668,921	98.2
	冷凍食品	291	96.9	152,972	94.6
	小計	2,423	84.4	2,344,239	105.0
総計		14,823	92.7	5,975,563	103.2

《4月〜1月・累月》

	種類	数量(トン)	前年比(%)	金額(千円)	前年比(%)
青果	野菜	96,629	98.8	20,019,203	92.2
	果実	41,665	103.2	16,381,500	103.1
	小計	138,294	100.1	36,400,703	96.8
水産物	生鮮水産物	14,848	92.8	12,881,680	97.5
	冷凍水産物	2,016	84.2	2,708,688	94.9
	加工水産物	8,937	95.5	9,582,971	96.5
	冷凍食品	3,210	98.1	1,688,033	97.7
	小計	29,010	93.5	26,861,371	96.9
総計		167,303	98.9	63,262,075	96.8



■令和4年度 府市場の主要予算(案)

○委託事業 (72,095千円)

No.	項目	費用	備考
1	再整備基本計画策定支援等業務*	68,090千円	(R5: 70,950千円)
2	高圧受変電設備改修工事 設計業務(大規模改修)	4,005千円	
合計		72,095千円	

- ※) ①基本計画の策定支援  
(強化すべき市場機能、施設のゾーニング、概算整備費、PFI事業導入検討 など)  
②(仮称)大阪府中央卸売市場再整備検討会議の設置・運営支援

○計画修繕工事 (196,092千円)

No.	項目	費用	備考
1	電力計量器取替工事	25,115千円	
2	ガス計量器取替工事	10,718千円	
3	その他一般修繕工事(建築、電気、機械等)	68,118千円	
4	水産仲卸B棟低圧共用幹線設備改修工事	46,934千円	【管理C依頼予定工事】
5	青果棟屋上防水改修工事	45,207千円	【管理C依頼予定工事】
合計		196,092千円	

○補助事業 (20,000千円)

No.	項目	費用	備考
1	仲卸売場等低(定)温化設備導入支援事業	20,000千円	
合計		20,000千円	

ただ、市場なので薬剤を使用できない。このため必要となる対策のための監視機器の導入には9000万ほどかかるので費用対効果を見極める必要がある。費用をかけてでも導入するのか議論いただければと思う。

なお、冷蔵庫については、調査により気密性は確保できているので、扉の開けっ放し防止に留意してもらおうことで進入が防げるかと思う。

■直接集荷について(府からのお願い)

仲卸業者の皆さま

直接集荷の届出は、毎月10日までにお願いします。

直接集荷とは、仲卸業者がその中央卸売市場の卸売業者・仲卸業者以外の者から生鮮食料品等を買入れて販売することです。  
当市場において直接集荷を行った場合は、知事に届け出なければならないとされています。  
(大阪府中央卸売市場業務規程第44条)

※ 大阪市中央卸売市場本場の卸売業者や仲卸業者(本店を含む)から買入れた場合も含まれます。

○届出書の提出について

直接集荷を行った場合は、次のとおり届出書を提出してください。

- 様式名 「仲卸業者の直接集荷品販売届出書(施行規則様式第27号)」  
※ 品目ごとの金額は税抜き、消費税を含む合計額は端数を切捨て(千円単位)
- 提出期限 毎月10日までに前月中の実績を届出  
(業務規程第44条、施行規則第58条)
- 提出先 各仲卸組合(取りまとめ後、管理センターへ提出されます)

○売上高割使用料について

直接集荷を行った場合は、業務規程第57条第1項の規定により、売上高割使用料(青果・鮮魚は1000分の2.5、加工冷凍食品は1000分の1.5)を納付していただきます。

- ・直接集荷等の取引ルールに関するお問い合わせ 府市場 業務・指導担当
- ・売上高割使用料等に関するお問い合わせ 管理センター

大阪府新型コロナウイルス対策本部会議の要請 (令和4年2月21日から3月6日まで)

【府民の皆様へ】

- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛すること
- 営業時間短縮を要請した時間以降、飲食店にみだりに出入りしないこと
- 会食を行う際は、4ルールに留意すること
  - ・同一テーブル4人以内、
  - ・2時間程度以内での飲食、
  - ・ゴールドスタッカー認証店舗を推奨、
  - ・マスク会食の徹底
- 感染防止対策(3密の回避、マスク着用、手洗い、こまめな換気等)の徹底

【企業の皆様へ】

- 在宅勤務(テレワーク)の活用や休暇取得の促進等による出勤者数の削減の取組みや時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを進めること
- 休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること
- 国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な業務を行う事業者及びこれらの業務を支援する事業者は、BCP(事業継続計画)の点検を行い、必要な業務を継続すること

前ページより続く

状況を見極め、今後、行政の福祉化の一環（授産施設等の製品利用）としても検討。

○維持補修事業

2月16日現在で、200件、5482万円の事業を実施。

○府依頼事業

・水産仲卸A棟低圧共用幹線設備の改修工事→3月下旬竣工予定。  
・冷蔵庫棟冷凍設備の改修工事→3月下旬竣工予定。

○ごみ関連

▽不法投棄

1月は8件で、対策開始前に比べて95%の減少。

▽青果くず排出

1月は排出量・処理費用ともに69%と大幅な増加。4月から1月までの累計でも、排出量・処理費用ともに128%の増加。

○その他

2月16日現在も増加傾向にあり、抑制に努める。

▽木製廃棄パレット排出

1月の排出量は1日当たり290枚で、昨年度の346枚に比較して減少傾向。

更なる削減を目指し、「外部の持ち込み禁止」、「利用可能なパレットの再利用」を徹底する。

○カラス対策

固定式捕獲籠が大きな

成果をあげている。

昨年度は245羽であったが、今年度は2月16日現在で過去最大の818羽を捕獲。

○禁煙対策

2月16日現在、通告書交付（違反者）は284件（うち場外は70件）、警告書交付（再違反者）は26件→さらに累犯で入場禁止。

条例違反の喫煙コーナーの改善については、12か所を9か所（屋外に移設）に改善・保健所に報告。

○消防・防災訓練

感染防止対策を講じながら昨年と同規模で3月下旬に開催予定。参加者には非常用備蓄セットを配付。

○市場施設等再整備構想策定検討委員会  
府と連携し、組織改革も含め対応。

○その他  
▽宮島2号線等道路問題  
「道路問題対策協議会」において検討。

▽市場関連店舗への出店  
食流Cの「遠野商店」が4月を目前に出店の予定。

▽新型コロナウイルス検査キット  
各事業体で計1020セットを発注しており、2月末に入荷の予定。

▽指定管理者評価委員会  
3月1日に開催の予定。

マスクは、すき間のないように装着。  
できるだけ効果の高い不織布マスクを!!

市販マスクの性能 (実測値)

マスクの種類	不織布マスク			
	マスクなし	ウレタンマスク	布マスク フィルタレス	フィット
飛沫の捕集率	0%	18%	30%	75%
吸い込み	0%	52%	72%	82%
吹き出し	0%	52%	72%	82%



※国化学研究所ウイルス飛沫捕集のモデルに基く実測値。2020年6月23日。第2版を基に作成

▽不織布マスク着用の徹底

■その他

○来年度の開放デー中止

議長より「コロナによる混乱は当分の間続く」と危惧される。一方で祭りの準備は早くから対応する必要があり。協会植田理事長とも話をし、非常に残念ではあるが、来年度も開放デーを中止したいかどうか。との発言があり、全員が合意した。

○理事会等の日程

協会理事会の開催日程について、6月25日(土)の案が示され、了承された。

これに引き続いて、管理Cと北冷の株主総会が開催される予定。

○人権研修会の中止

酒井孝博総務部会長より「今月下旬に、ハラスメント予防を中心に、初めての女性講師を招いて予定していた人権研修会であるが、コロナの状況を踏まえ、中止したい。なお、同講師には、来年度、改めて研修会の講師をお願いしたい。」との発言があり、了承された。

○大掃除の実施

西田景典安全部会長より「来月3月11日(金)に、今年度最後の大掃除を行うので、皆さんのご協力をよろしく。」との発言があり、了承された。

■意見交換

○西田青果卸売協同組合 理事長からの発言

まず、禁煙について。ルールが未だ十分浸透していないのではないかと、また、買出人など外の人への指導や夜間の指導が課題ではないかといった意見がある。組合としてもしっかりと取り組みたいので検討してほしい。次に、ネズミの被害について。アンケートをしたところ、果物を中心に被害額が増えているとのこと。店舗まわりの荷物の保管場所や冷蔵庫まわりで被害が多いようである。

○管理Cからの回答

議長から「禁煙については、当初より一挙にはいかないで段階を踏んで取り組むことになったもの。言われるように段階を上げること検討する時期になったかもしれない。検討したい。」との発言があった。

続いて宮前統括より、次のような回答がなされた。

禁煙対策については、禁煙指導員として警備員全員を含め47名を委嘱し、禁煙指導に当たっており、特に違反が多い夜間は警備員を中心に指導している。指導が困難な買出人など外部の人向けには店舗で禁煙ポスターを掲示し注意喚起を行っている。

ルール違反者に対しては、通告書、警告書を発布し、3回違反者は入場禁止としているが、加えて過料を徴収することは法令上疑義があるので慎重に検討する必要があるが、時の経過とともに「ゆるみ」がみられるかもしれないので取り組みの強化を検討したい。次に、ネズミ対策については、5年前に専門家の調査を実施し、水平よりも垂直移動が多いなど当市場の特性を把握している。